

微生物殺虫剤

# サブツナ<sup>®</sup> フロアブル

## コナガの防除に!!

- 使用回数の制限なし!!
- 野菜類に使用可能!!



# 微生物殺虫剤 サブリナフロアブルの特長



## 卵期処理で孵化直後のコナガに効果がある!

サブリーナフロアブルはオイルベースのフロアブル製剤で、他のBT剤にはない独自の効果を示します。BT剤の中でも特異的に卵期処理で、孵化直後の葉に潜る前のコナガに効果を示します。



## 若齢幼虫期のコナガへの効果が高く、発現速度も速い!

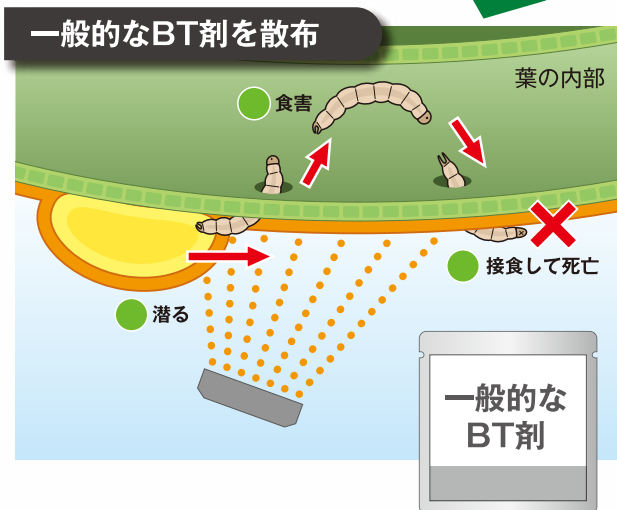
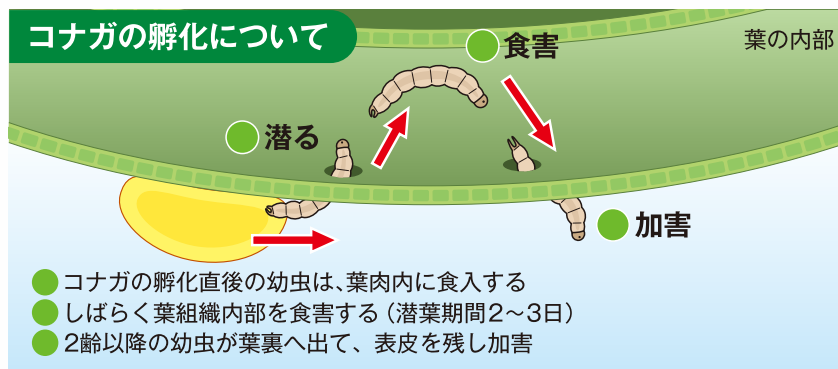
アイザワイ系の優れた菌株を選抜することにより、数種類の殺虫活性を持つ殺虫性タンパクをバランスよく配合し、高い殺虫効果を示します。生菌剤であり、効果の発現速度が高くなっています。



## 散布適期が広く、圃場レベルで効果が高い!

孵化直後の幼虫にも若齢幼虫にも効果を示すので、被害が少なくなり、より高い防除効果が得られます。また、コナガに対する散布適期が広がります。

### コナガ(卵期)への効果 一般的なBT剤との違い



薬剤名	希釈倍率	孵化後幼虫死亡率(%)
サブリーナフロアブル	1,000	72.1
A剤	1,000	0
B剤	2,000	0
C剤	1,000	0
D剤	1,000	0
E剤	1,000	0
F剤	1,000	0

鹿児島県農業開発総合センター 2016年  
1枚当たり18~23個が産卵されたキャベツ葉を供試。  
卵が付着した葉を薬液に30秒間浸漬処理。  
風乾後、25±1℃の恒温条件下に静置。  
処理96時間後に孵化幼虫の状態を調査。

**サブリーナは、特異的に卵期処理で、  
孵化直後のコナガに効果を示しました。**

## ◆コナガの生活環とサブリナの散布適期



コナガは主にアブラナ科植物を食害する、チョウ目害虫。全国的に既存農薬に対して抵抗性を持ったコナガが発生しており、特にジアミド系殺虫剤に対する薬剤感受性の低下した個体の発生が、大きな問題となっています。そうした中、天敵微生物を活用したBT剤は、安定した効果を発揮します。

**散布適期**  
若齢幼虫期だけでなく  
卵期もカバー

## コナガ(若齢幼虫期)への効果

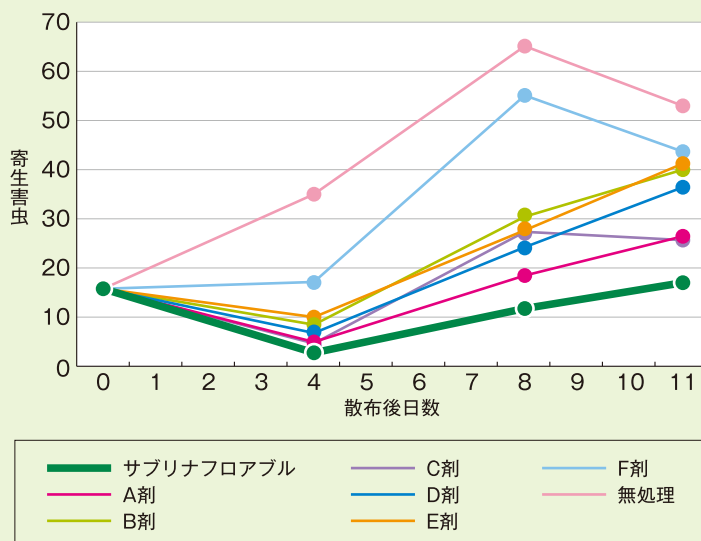
薬剤名	希釈倍率	死亡率(%)			
		24h	48h	72h	96h
サブリナフロアブル	1,000	90.0	100.0	100.0	100.0
A剤	1,000	90.0	100.0	100.0	100.0
B剤	2,000	40.0	100.0	100.0	100.0
C剤	1,000	66.7	93.3	100.0	100.0
D剤	1,000	73.3	96.7	96.7	96.7
E剤	1,000	46.7	73.3	80.0	90.0
F剤	1,000	3.3	10.0	10.0	13.3
無処理	-	0.0	0.0	0.0	0.0

鹿児島県農業開発総合センター 2016年  
直径8cmにくりぬいたキャベツの葉を薬剤に30秒間浸漬。  
風乾後、シャーレ内に入れ、3齢幼虫を10頭ずつ接種。  
25±1℃の恒温条件下に静置し、処理96時間後までの  
幼虫の状態を調査。

**サブリナは若齢幼虫期の  
コナガに対し、  
早く高い殺虫効果を示しました。**

引用文献：九病虫研会報 64:47-54

## キャベツ圃場での効果



鹿児島県農業開発総合センター 2016年  
総合センター大隅支場内の圃場にて試験。  
供試品種：金系201号  
定植：4月5日(セル苗、本葉2~3葉期)  
散布日：5月13日(定植28日後、本葉7~8葉期)  
散布量：100ℓ/10a  
調査：各区10株におけるコナガの幼虫、蛹の計数を調査。

**散布適期が広いことが影響し、  
サブリナは他剤に比べてキャベツ  
圃場で高い効果を示しました。**

引用文献：九病虫研会報 64:47-54

アイザワイ系  
BT水和剤

微生物殺虫剤

コナガの防除に!!

# サブツナ<sup>®</sup>

## フロアブル

成分：パチルス チューリンゲンシス菌の芽胞および産生結晶毒素  
(力価として1,000B.m.m単位/mg).....10.0%  
界面活性剤、増量剤等.....90.0%  
毒性：普通物

- フロアブル製剤なので使用時に調製しやすく、作物の汚れが少ないです。
- 幅広いチョウ目害虫(コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ等)に高い効果を発揮します。
- JAS(日本農林規格)で定める有機農産物生産に使用することができます。
- 特別栽培農産物生産に使用しても化学合成農薬としてカウントされません。

### ■ 適用病害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	BTを含む農薬の総使用回数					
野菜類 (はくさい、 えごま(葉)を除く)	コナガ	1,000~1,500倍	100~300ℓ/10a	発生初期 収穫前日まで	—	散布	—					
	アオムシ、ヨトウムシ	1,000倍										
	ハスモンヨトウ	500~750倍										
	オオタバコガ	500倍										
はくさい	コナガ	1,000~1,500倍										
	アオムシ、ヨトウムシ	1,000倍										
からしな(種子)	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ	1,000倍										
	ハスモンヨトウ	500~750倍										
豆類(種実)	ヨトウムシ	1,000倍										
	ハスモンヨトウ	500~750倍										
いも類	オオタバコガ	500倍										
	アワノメイガ	1,000倍										
雑穀類(ひえを除く)	アワノメイガ、イネヨトウ	1,000倍										
	ひえ	1,000倍										
えごま(葉)	コナガ	1,000~1,500倍	200~400ℓ/10a	発生初期 摘採7日前まで	—	散布	—					
	アオムシ、ヨトウムシ、ベニフキノメイガ	1,000倍										
	ハスモンヨトウ	500~750倍										
	オオタバコガ	500倍										
えごま(種子)	ベニフキノメイガ	1,000倍										
茶	チャノコカクモンハマキ、 チャハマキ、チャノホソガ	1,000倍						200~400ℓ/10a	発生初期 摘採7日前まで	—	散布	—
	マイマイガ							200~700ℓ/10a	発生初期 収穫前日まで			
	ケムシ類							100~300ℓ/10a	発生初期			
	ケムシ類							200~700ℓ/10a	発生初期			
食用ほおのき(葉)	ケムシ類	1,000倍						200~700ℓ/10a	発生初期 収穫前日まで	—	散布	—
食用さくら(葉)(花)	アワノメイガ	100~300ℓ/10a						発生初期				
飼料用とうもろこし	ケムシ類	200~700ℓ/10a						発生初期				
樹木類	ケムシ類	1,000倍	200~700ℓ/10a	発生初期	—	散布	—					
食用ほおのき(葉)	ケムシ類	1,000倍	200~700ℓ/10a	発生初期 収穫前日まで								
飼料用とうもろこし	アワノメイガ	100~300ℓ/10a	発生初期									
樹木類	ケムシ類	1,000倍	200~700ℓ/10a	発生初期	—	散布	—					

### ■ 使用時の注意

**使用前によく振って  
ください!!**

①使用前に容器を  
軽くもんでください



②振り混ぜてください。



### ■ 適用害虫



### ⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから、使用して下さい。
- 使用量に合わせ薬剤を調整し、使いきって下さい。
- 本剤を所定量の水にうすめ、十分かきまぜて散布液を調整して下さい。
- はくさいに対しては薬害を生じる恐れがあるので、所定の希釈倍数を厳守して下さい。
- たかなに使用する場合、高温期には薬害を生じることがあるので注意して使用して下さい。
- 展着剤を加用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤の加用に当たっては事前にその適否を確認して下さい。
- 石灰硫黄合剤、ホルデー液などの農薬及びアルカリ性の強い葉面散布用の肥料とは混用しないで下さい。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布して下さい。
- 本剤は若齢幼虫に効果が高いため、若齢幼虫時に時期を失わず散布して下さい。
- 蚕に対する毒性があるので、養蚕地帯及び養蚕農家、共同飼育場などの周辺では使用しないで下さい。また、これら以外の場所でも付近に桑園がある場合、飛散してかからないように、風向きなどに十分注意して散布して下さい。なお本剤の使用に当たっては散布地域の使用規制に従って下さい。
- コレマンアブラバチの活動に影響を及ぼす可能性があるため注意して下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、以下の点に注意して下さい。
  - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにして下さい。



- ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設等では使用を避けて下さい。なお、ミツバチを放飼する場合は散布後、1日以上たってから行って下さい。
- ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。



- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

### ⚠ 安全使用上の注意



- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は、作業に従事しないようし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係ない者が散布地域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意して下さい。



● 使用前にラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。● 使用後の空袋・空容器は圃場や水路などに放置せず、適切に処理してください。● 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ/ご注文は